

令和4年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【小学校】国語・算数

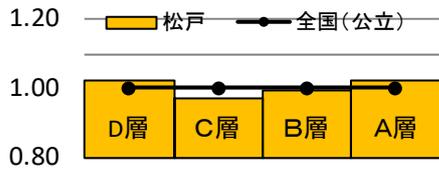
※令和元年度より国語A、B及び算数A、Bがそれぞれ国語、算数となって出題されています。

正答数と4つの学力層の分布

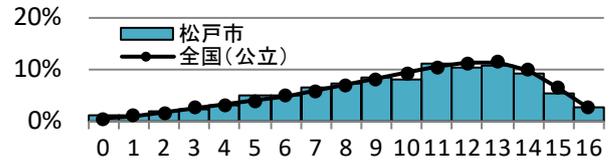
小学校 国語



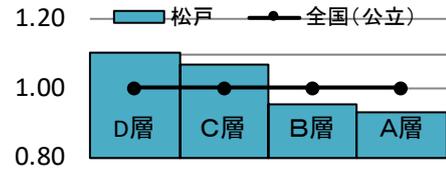
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～9問	10問～11問	12問～14問
松戸市	21.5%	25.4%	24.2%	29.0%
全国(公立)	21.0%	26.2%	24.4%	28.4%



小学校 算数



層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～9問	10問～12問	13問～16問
松戸市	19.6%	22.4%	29.6%	28.2%
全国(公立)	17.8%	21.0%	31.0%	30.2%



【傾向と課題】

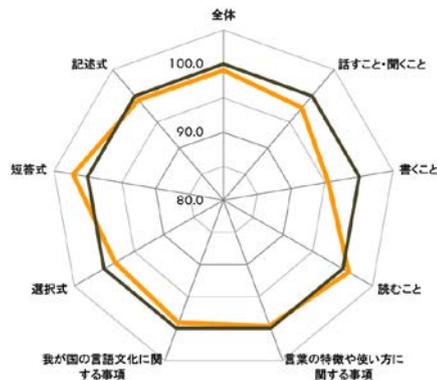
「正答数」について、国語、算数ともに、おおむね全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、全国と比較して国語は、各層ともほぼ同等です。算数はD層C層の割合が高く、B層A層の割合が低いのが課題です。

3年間の推移(全国平均を100とした指数)

標準化得点	国語	算数
令和元年度	99	99
令和3年度	99	100
令和4年度	100	99
全国(国公私)	100	100

教科についての傾向と課題(各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す)



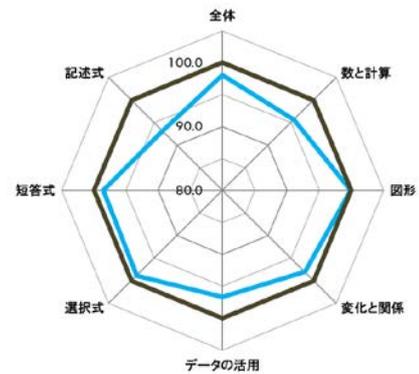
小学校 国語

【傾向と課題】

思考力、判断力、表現力等の「読むこと」については全国平均を上回る結果となりましたが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」について、全国を下回っており、課題が見られます。

【改善のポイント】

学習活動の中で、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉える場面や、文章全体の構成や書き表し方などに着目し、文や文章を整える場面を多く設定していくことが重要です。



小学校 算数

【傾向と課題】

領域では、「図形」「変化と関係」については全国と同程度ですが、「数と計算」「データの活用」については全国を下回っており、課題が見られます。

問題形式では、特に「記述式」に課題が見られます。

【改善のポイント】

目的に合った数の処理の仕方を考えたり、目的に応じた、表やグラフを読み取り、データの特徴や傾向を捉えて考察できるようにすることが大切です。

学習活動の中で思考したものを、表現していく場面を多く設定していくことが重要です。

令和4年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【中学校】 国語・数学

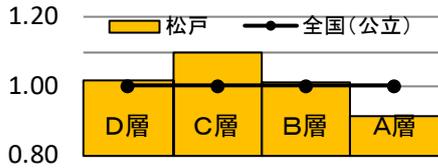
※令和元年度より国語A、B及び数学A、Bがそれぞれ国語、数学となって出題されています。

正答数と4つの学力層の分布

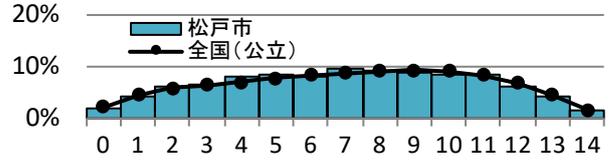
中学校 国語



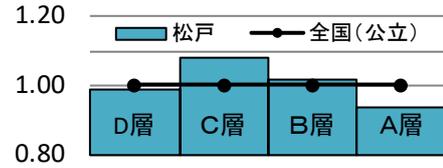
層	D層	C層	B層	A層
	0問～7問	8問～9問	10問～11問	12問～14問
松戸市	21.7%	20.8%	28.9%	28.5%
全国(公立)	21.3%	19.0%	28.5%	31.1%



中学校 数学



層	D層	C層	B層	A層
	0問～3問	4問～6問	7問～9問	10問～14問
松戸市	18.8%	24.9%	27.8%	28.5%
全国(公立)	19.0%	23.0%	27.4%	30.5%



【傾向と課題】

「正答数」について、国語、数学ともに、全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、国語、数学ともに C 層の割合が高く、A 層の割合が低いのが課題です。

3年間の推移(全国平均を100とした指数)

標準化得点	国語	数学
令和元年度	100	100
令和3年度	100	100
令和4年度	100	100
全国(国公私)	100	100

教科についての傾向と課題(各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す)



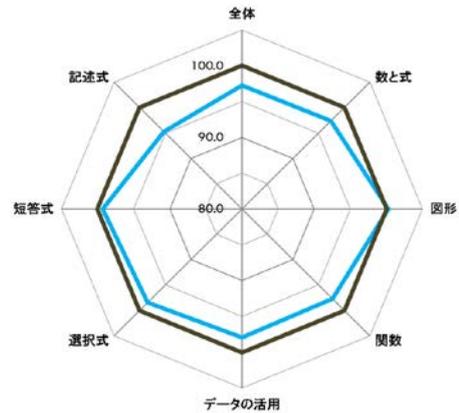
中学校 国語

【傾向と課題】

領域では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」、問題形式では、「記述式」が全国を下回っており、課題が見られますが、その他の形式については、全国と同程度です。

【改善のポイント】

学習活動の中で、自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして話したり書いたりする場面、相手を考慮して表現を工夫する場面を多く設定していくことが重要です。



中学校 数学

【傾向と課題】

領域では、「図形」以外が、全国平均を若干下回るものの、ほぼ同程度です。

問題形式については、いずれも全国平均を下回っているが、特に「記述式」に課題が見られます。

【改善のポイント】

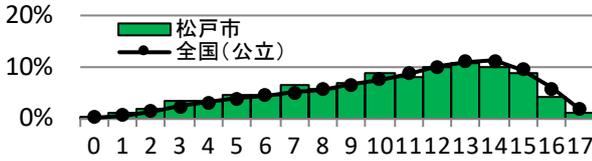
予想した事柄が成り立つかどうかを、具体例を挙げて調べる活動や事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動を取り入れることが大切です。

令和4年度全国学力・学習状況調査 松戸市の学力状況【小・中学校】理科

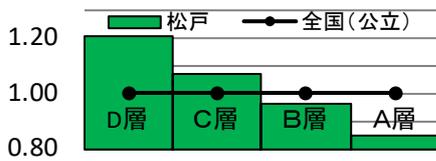
※理科については3回に1度の実施ですので、平成30年度以来の実施となります。

正答数と4つの学力層の分布

小学校 理科



層	D層	C層	B層	A層
	0問～7問	8問～10問	11問～13問	14問～17問
松戸市	25.9%	21.3%	28.7%	24.2%
全国(公立)	21.5%	19.9%	29.9%	28.6%

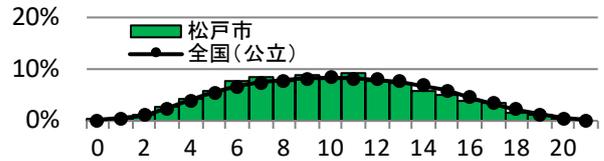


【傾向と課題】

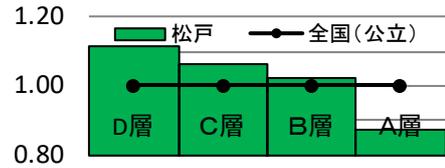
「正答数」について、小学校、中学校ともに、全国と同程度の分布状況です。

「4つの学力層」について、小学校、中学校ともに、D層の割合が高く、A層の割合が低いのが課題です。

中学校 理科



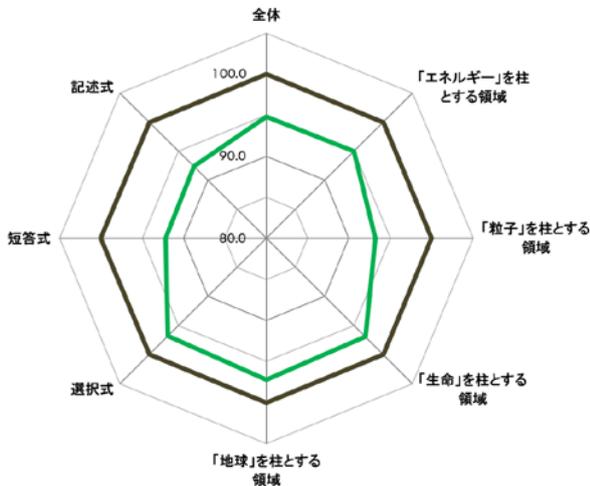
層	D層	C層	B層	A層
	0問～6問	7問～9問	10問～12問	13問～21問
松戸市	22.2%	24.8%	25.1%	28.1%
全国(公立)	19.9%	23.3%	24.5%	32.2%



30年度との比較(全国平均を100とした指数)

標準化得点	小学校	中学校
30年度	100	99
R4年度	99	99
全国(国公私)	100	100

教科についての傾向と課題(各区分の全国の平均正答率を100とした場合の相対値を示す)



小学校 理科

【傾向と課題】

全体的に全国平均を下回っています。領域では特に「粒子」について課題が見られます。問題形式では特に「記述式」「短答式」について課題がみられません。

【改善のポイント】

目的に応じて器具や機器を選択し、観察、実験などに関する基本的な技能を身につけさせることが大切です。観察や実験などで得た結果について分析して解釈し、より妥当な考えを作り出すことができるようにすることが重要です。



中学校 理科

【傾向と課題】

領域では全体的に全国平均を下回っています。問題形式では、特に「記述式」に課題が見られます。

【改善のポイント】

考察の妥当性を高めるために、実験の計画を検討して改善をさせたり、課題を解決するために適切な探究方法を検討し、探究の過程の見通しを持てるような学習活動を取り入れていくことが大切です。

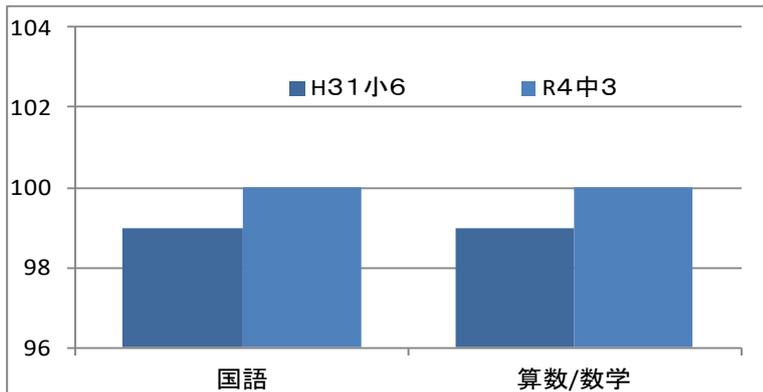
令和4年度全国学力・学習状況調査 同一集団の推移【H31小学6年生とR4中学3年生】

※理科に関しては、令和2年度の全国学力・学習状況調査の中止に伴い実施年度がずれた為、推移をみれません。
対象児童生徒数

	平成31年度 市立小学校の6年生	令和4年度 市立中学校の3年生	増減
国語を受けた人数	3,761名	3,142名	-619名 ※私立中学校への進学等による

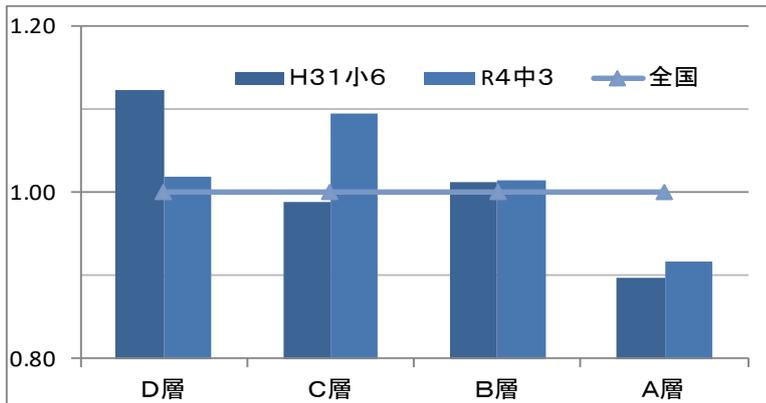
標準化得点(全国平均を100とした指数)と4つの学力層の推移

標準化得点



	国語	算数/数学
H31小6	99	99
R4中3	100	100

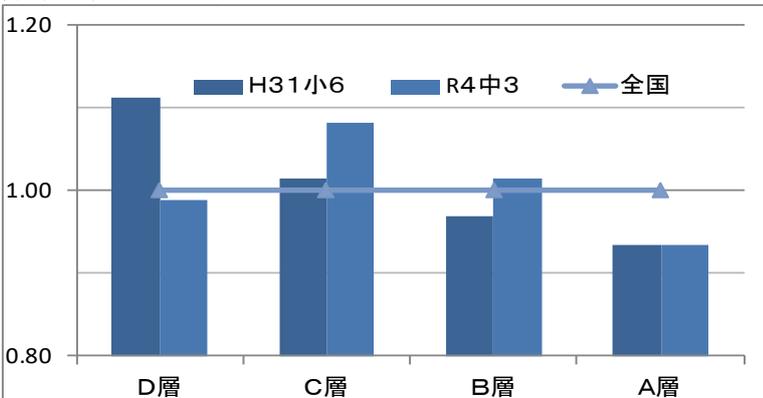
国語(小/中)



(松戸市の値) ÷ (全国値)

	D層	C層	B層	A層
H31小6	1.12	0.99	1.01	0.90
R4中3	1.02	1.09	1.01	0.92

算数・数学(小/中)



(松戸市の値) ÷ (全国値)

	D層	C層	B層	A層
H31小6	1.11	1.02	0.97	0.93
R4中3	0.99	1.08	1.01	0.93

【傾向と課題】

同一集団を比較したとき、学力層の底上げは図れているといえます。
また、D層の割合が減り、B,C層の割合が増えており、A層の割合については、ほぼ同程度であるといえます。
よって、A層の引き上げ課題があるといえます。

令和4年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙と学力の関係

児童生徒質問紙から

以下の回答をしている児童生徒は、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。

国語、算数／数学、理科の授業では・・・

- 小 中 国語、算数／数学、理科の勉強が好き
- 小 中 国語、算数／数学、理科の勉強は大切だと思う
- 小 中 国語、算数／数学、理科の授業の内容がよく分かる
- 小 中 国語、算数／数学、理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う
- 小 中 算数／数学、理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える
- 小 中 算数／数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずに色々な方法を考える
- 小 中 算数／数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える
- 小 中 算数／数学の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしている
- 小 中 理科の授業では自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている
- 小 中 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている
- 小 中 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている

教科の授業や学級活動等、学校生活の中で・・・

- 小 中 学校に行くのは楽しい
- 小 中 先生は、あなたのよいところを認めてくれている
- 小 中 自分の違う意見について考えるのは楽しい
- 小 中 新聞を読んでいる
- 小 中 読書が好き
- 中 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強に役立つと思う
- 小 中 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
- 小 中 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習に繋げることができている
- 小 中 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
- 小 中 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている
- 小 中 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる
- 小 中 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

家庭では・・・

- 小 中 朝食を毎日食べている
- 小 中 毎日同じくらいの時刻に起床、就寝している
- 小 中 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)勉強する時間が長い(学習塾等を含む)
- 小 中 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、勉強する時間が長い(学習塾等を含む)
- 小 中 家で、自分で計画を立てて勉強をしている(学校の授業の予習や復習を含む)
- 中 普段(月～金曜日)スマートフォンやコンピュータをなどの ICT 機器を、勉強のために使っている
- 小 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている

今回の調査では・・・

- 小 調査問題の解答時間は十分だった
- 小 中 今回の国語、算数／数学、理科の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 小 中 自分には良いところがある
- 小 中 物事を最後までやり遂げるようにしている
- 小 中 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している

学力向上に向けて

学校では

- ◆学習規律(私語をしない、話し手の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守る、忘れ物をしないなど)の確立に努める
- ◆児童生徒が自ら「学習したい」「知りたい」と意欲がわく、導入などでの内容の工夫・改善をする
- ◆授業においては児童生徒自身で学習課題を作り、協働しながら課題解決に向かうよう工夫する
- ◆「学習した内容」と「普段の生活や将来」を結びつけた、まとめや振り返りの活動を取り入れる
- ◆話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるような指導を工夫する
- ◆授業では次のような場面を設定し、言語活用科の学習で身につけたスキルを活用できるようにする
 - ・自分の考えを書いたり、発表したりする場面
 - ・理由や根拠を説明する場面
 - ・相手の考えを最後まで聞き、整理する場面
- ◆問題を解き方がわからなくても、最後まで諦めず、いろいろな方法を考えるよう指導する
- ◆家庭学習の充実に向けて、家庭との連携を図る(e-ライブラリ等の家庭学習ツールを活用する)
- ◆実態を捉えた研修の充実を図る
- ◆児童生徒が達成したことや達成するために努力したことを称賛する
- ◆家庭・地域などの人材を活用する
- ◆教科等横断的な視点での授業改善を行う
- ◆ICT(動画やデジタル教科書等)を活用した分かりやすい授業を実践する

家庭では

- ◆朝食を食べることや決まった時間に寝起きすることなど生活習慣を身につける
- ◆学校の授業時間以外に勉強する時間を確保する
- ◆計画を立てて、宿題や授業の復習をする
- ◆携帯電話・スマホ、テレビ、ゲーム等の時間を調節できるよう約束を決める
- ◆本や新聞を読む習慣をつける
- ◆家族で学校での出来事、ニュースや地域の出来事を話題にする

教育委員会では

- ◆学校における学力向上を目指した取り組みを積極的に支援する
- ◆教員の指導力向上を目指した効果的な研修を実施する
- ◆言語活用科を軸とした学習システムを構築し、教科の学習に活用が図られるようにする
- ◆全国学力・学習状況調査の分析結果を情報提供し、各学校における実態分析や指導改善を推進する